

課題名：集落営農組織等の二階建て方式による中山間地域の活性化方策の策定  
(令 8 ～ 10)

内容：岡山県では中山間地域を活性化し持続可能な地域とするため、主要産業である農業の振興に取り組んでおり、担い手となる個別経営体や集落営農組織の育成を進めています。小規模で高齢化した中山間地域の集落では、水路・農道整備、用排水・畦畔管理、鳥獣害対策等の負担が大きく、スケールメリットを発揮しにくいことや周年雇用体制の整備が困難なこと、人件費の負担が大きく、正規雇用が進まないことにより、収益性向上や次世代の担い手の確保が困難になっています。その中で、中山間地域の活性化において、二階建て方式は有効な取組と考えられます。この方式では、一階は自治組織等が、住民のコミュニティ・福祉活動に加え、農地の利用調整や水路・農道整備、用排水・畦畔管理、鳥獣害対策等の農業支援を農業者と共同で担います。二階では、集落営農法人等が営利活動に専念します。これにより、集落営農法人等の効率的な運営が可能となります。この方式の確立に向けては、制限要因の克服と合意形成手法の確立が課題であり、これらを解明することで中山間地域の活性化方策を明らかにします。



[作物・経営研究室 HP へ](#)  
[農業研究所 HP へ](#)